

可能な限り速やかに行うことが必要との
意見があった診断群分類の見直し（対応案）

1. 早期退院の評価について

- 意見の趣旨を反映させる場合、他の診断群分類との整合が図れなくなることから、対応しないこととしてはどうか。

2. 化学療法の評価について

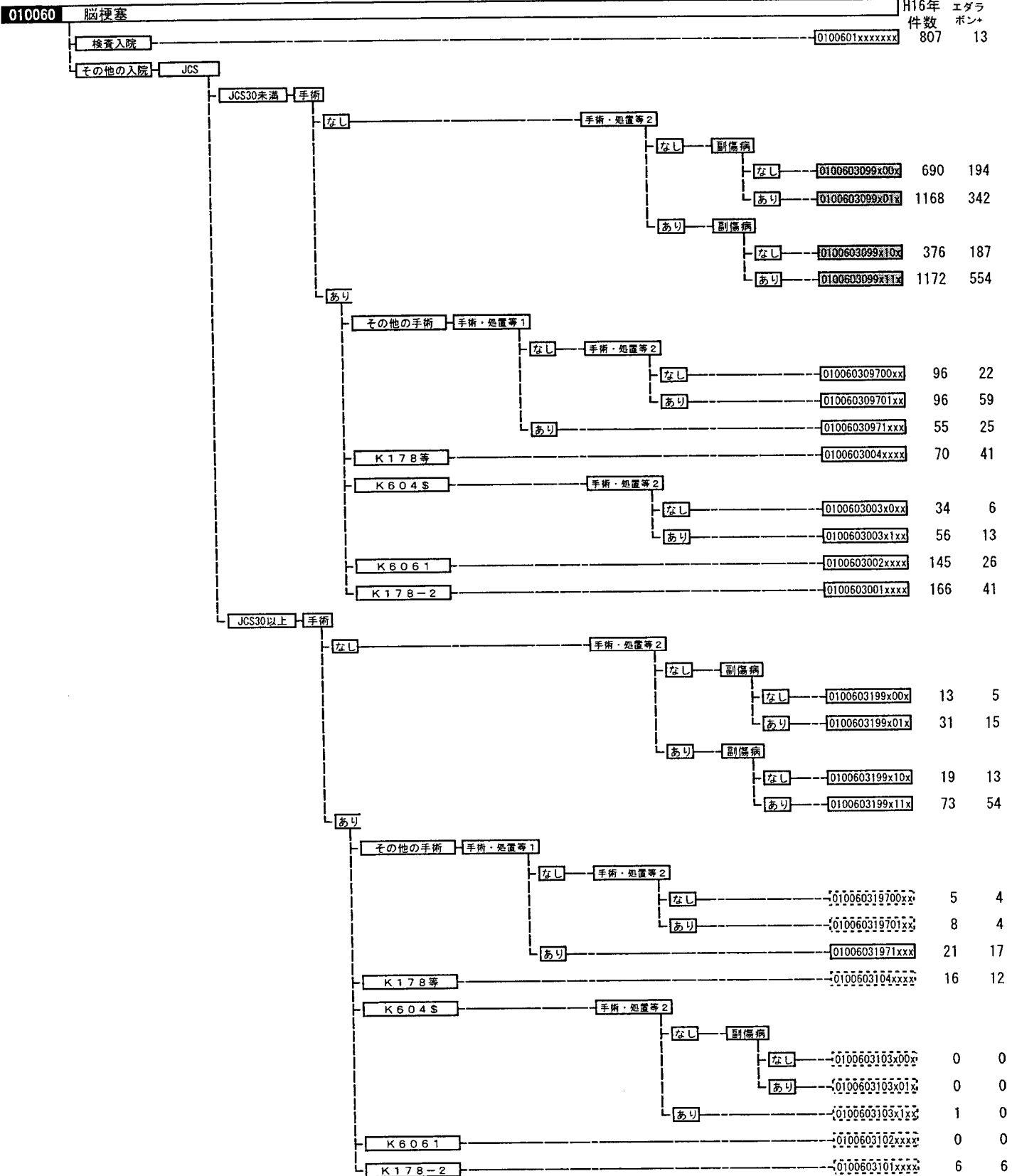
- 意見の趣旨を反映させる場合、他の診断群分類との整合が図れなくなること及び多くの診断群分類について出来高評価に戻すことになることから、対応しないこととしてはどうか。

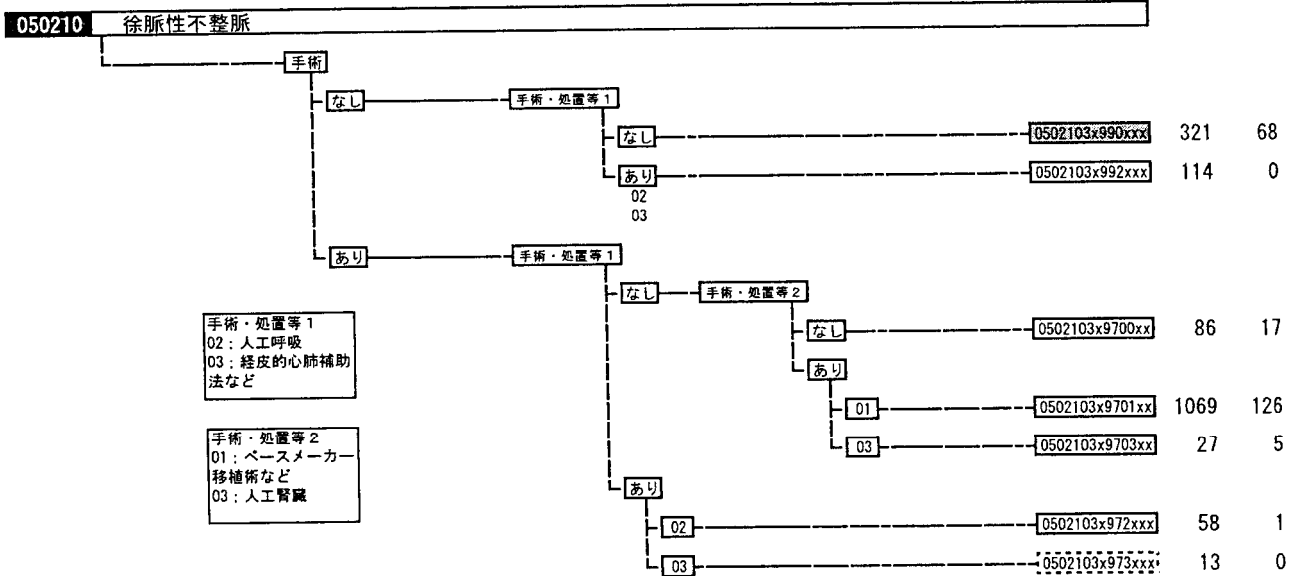
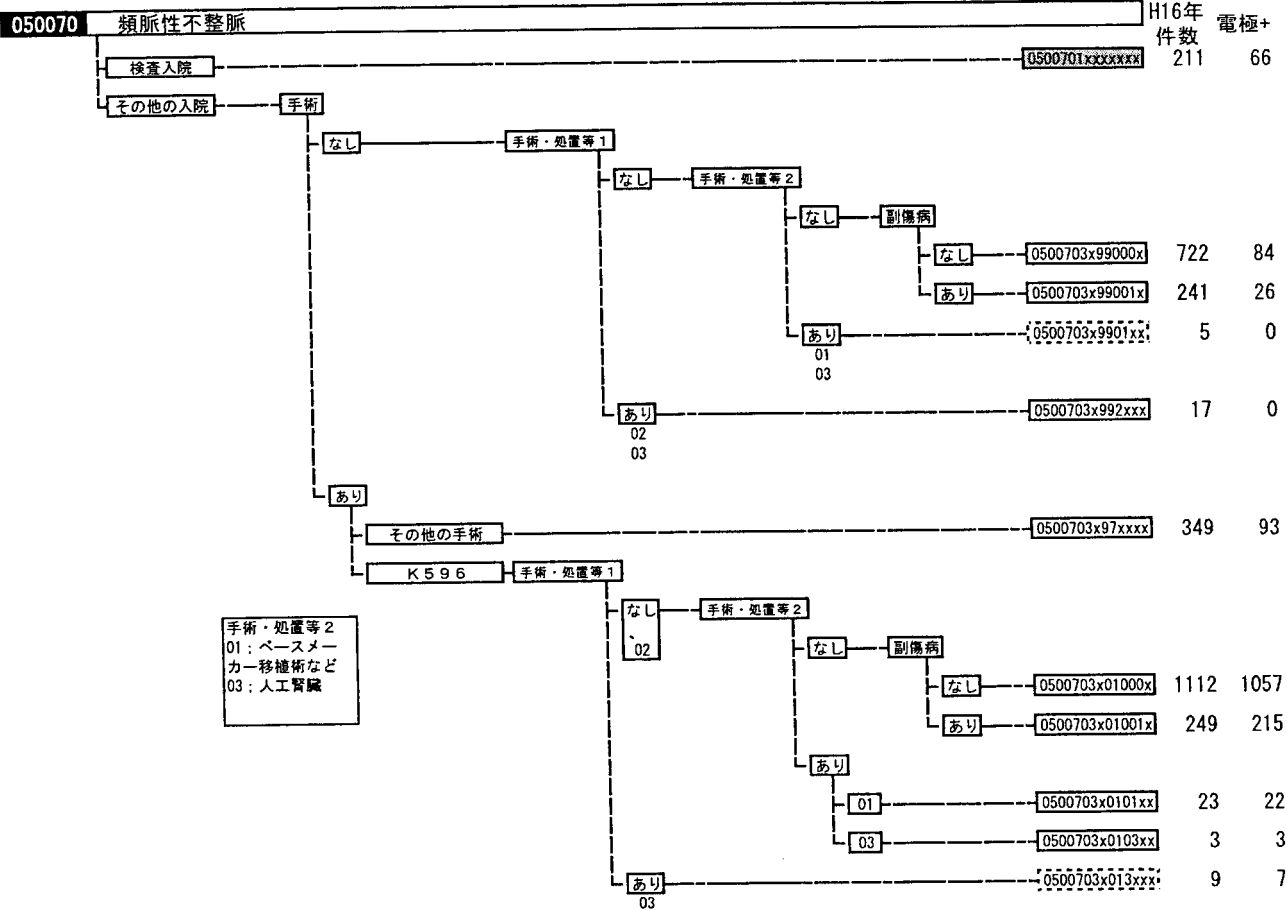
3. 高額な医薬品・医療機器の評価について

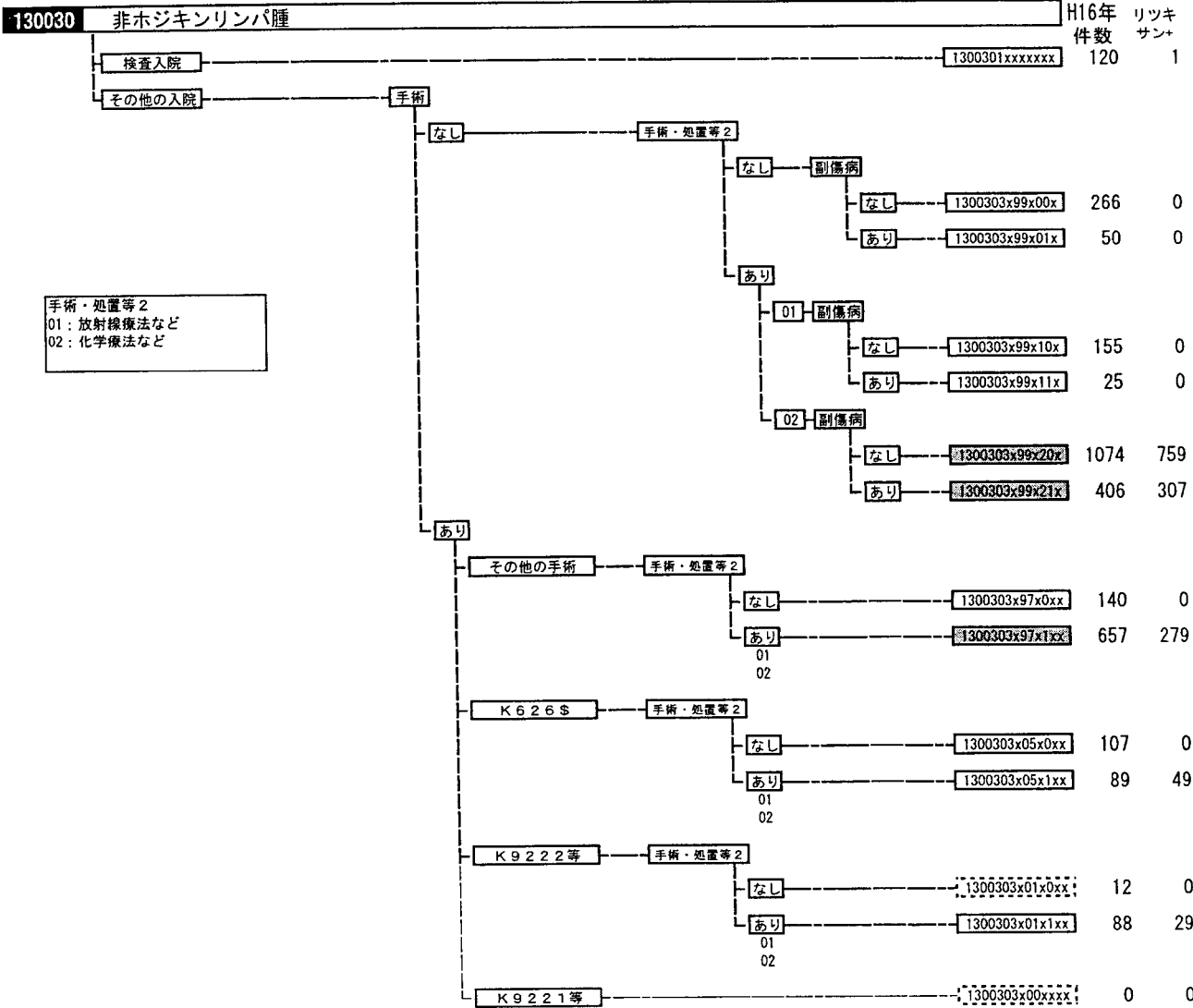
- 平成 15 年、平成 16 年のデータに基づいた分析において、包括評価と出来高評価の乖離が明らかに大きく、かつ、件数が相当数あると認められる次のものについてのみ対応することとしてはどうか。

- ・脳梗塞に対するエダラボン療法
- ・不整脈に対する電気生理学的検査
- ・非ホジキンリンパ腫におけるリツキシマブ療法

- なお、今回対応する分類についても、次期診療報酬改定における診断群分類見直しにおいて、適切な分類となるよう見直すこととする。







手術・処置等2
01:放射線療法など
02:化学療法など